

「地域循環共生圏構築による持続可能な地域づくりに向けた包括連携協定」の概要

- 平成30（2018）年から、中部電力株式会社様と当市は、地域コミュニティ、住民生活の質の向上につながる地域サービス創出に向けて取り組んでまいりました。
- 中部電力株式会社様の「一歩先を行く総合エネルギー企業」を目指すとする経営ビジョンと、当市が目指す地域の脱炭素化で地域経済と地域社会の統合的な発展を目指す「飯田版 地域循環共生圏」の考え方が共鳴したため、今般「地域循環共生圏構築による持続可能な地域づくりに向けた包括連携協定」の締結に至った次第です。
- 本協定では、「目的規定」において『これまでの飯田くらしや文化を大切にしながら、新たな情報技術等も活用し、飯田市における地域課題を解決していくことを通じて、新たな時代に即した飯田ならではの「くらし」と「まち」のあり方を追求する』としており、『このことを通じて、持続可能な地方都市のモデル構築を目指す』としています。

【参考】包括連携協定の概要

(1) 協定期間 令和2（2020）年2月14日から令和7（2025）年3月31日まで

(2) 締結目的

飯田のまちに住む人々が営々と築き上げてきたくらしや文化を尊重しながら、新たな情報技術等も活用し、飯田市における地域課題を解決していくことを通じて、新たな時代に即した飯田ならではの「くらし」と「まち」のあり方を追求することを目的とする。また、このことを通じて、持続可能な地方都市のモデル構築を目指す。

(3) 連携に取り組む事項

ア エネルギーと他のくらしのサービスを融合させた、新たな時代に即したくらしとまちづくりに向けた研究提案に関すること。

イ 市民サービス及び地域福祉の向上に関すること。

※ 「地域循環共生圏」とは

平成30（2018）年4月からスタートした国の第5次環境基本計画（平成30（2018）年4月閣議決定）で提唱されたもので、地域資源を持続可能な形で最大限活用しつつ、地域間で補完し支え合うことで、人口減少や少子高齢化の下でも環境、経済及び社会の統合的向上を図りつつ、新たな成長につなげようとする概念。